

令和3年3月1日

保護者の皆様へ

甲府市立北西中学校
校長 松田 昌樹

保護者アンケートの結果について

昨年末に、本年度の学校経営の重点について生徒・保護者の皆様にアンケート調査をお願いしました。「保護者対象アンケート」の結果がまとまりましたのお伝えいたします。

◆アンケート方法と結果の処理

本校で今年度重点的に取り組んだ内容についてアンケートを実施しました。アンケートの選択肢は4段階として、肯定か否定のどちらかの答え選んでいただき課題がはっきりと示されるようにしました。「そう思う」「ややそう思う」の肯定率が90%を上回った項目は「良好」と判断して、80%を下回った項目は「確認・改善」が必要として扱うこととしました。

◆結果

生徒アンケート質問項目	結果
①先生方は、授業でわかりやすく教えてくれるとともに、学習相談などを通して学力を伸ばそうと努力している。	98%
②私は授業の課題に、前向きに取り組み、解決できるように取り組んでいる。	90%
③私は、家庭学習に自発的・継続的に取り組んでいる。	71%
④先生方は、いじめのない楽しい学級作りのために努力している。	95%
⑤私の周りには、優しく思いやりを持った友達がいる。	98%
⑥学校の中に、私の悩み事や相談に親身になって対応してくれる先生がいる。	87%
⑦道德での学習は、生き方を考える機会となり私の成長へとつながっている。	91%
⑧学校生活が、私の努力する力や我慢する力、折り合いをつける力の向上につながっている。	92%
⑨私は合唱や学校行事に精一杯取り組んでいる。	95%
⑩私はさわやかなあいさつを進んでしている。	86%
⑪地震や火災の時どう避難したらよいかなど、わかっている。	96%
⑫学校生活をとおして、健康について考えたり、体力向上に努めている。	87%
⑬先生方は、私たち一人一人の個性を認めて指導に当たっている。	93%
⑭学校では、校内での感染症感染防止のために、生徒の健康・安全を考えた指導や対策が行われている。	97%
⑮先生方は、生徒のために一生懸命取り組んでいる。	98%

保護者アンケート質問項目	結果
①学校では、学習指導や学力向上の取り組みが適切に行われている。	90%
②お子さんは、家庭学習が習慣化している。	63%
③教員は、いじめのない互いを認め合う学校づくりに努めている。	93%
④お子さんと友達との人間関係は良好である。	92%
⑤教員は保護者からの問い合わせや相談に誠実に対応している。	97%
⑥学校は、人権教育や道德教育などをとおして豊かな心を育てるよう努めている。	91%
⑦学校では、テストの点数だけでなく、「努力する力」「我慢する力」「折り合いをつける力」など、子供たちが将来「生きていくための力」を育成している。	85%
⑧生徒の豊かな心を育てるために、合唱や行事が充実した活動となっている。	91%
⑨お子さんは、さわやかなあいさつができています。	84%
⑩学校では、交通安全や防災・防犯への指導に適切に取り組んでいる。	95%

①学校では、生徒の健康づくりや体力向上に適切に取り組んでいる。	95%
②学校は、生徒一人一人の教育的ニーズに適切に応えようとしている。	87%
③学校では、校内での感染症感染防止のために、生徒の健康・安全を考えた指導や対策を行っている。	96%
④学校の教育活動は、保護者の願いと概ね一致している。	91%
⑤学校の教育活動・学校運営は概ね満足できる状態である。	94%

◇アンケート結果より

生徒「先生方は、生徒のために一生懸命取り組んでいる。」98%。保護者「学校の教育活動は、保護者の願いと概ね一致している。」91%。「学校の教育活動・学校運営は概ね満足できる状態である。」は、94%と概ね良好な学校運営が行われていると評価していただきました。

しかし、昨年度からの課題である「家庭学習の習慣化」が、生徒71%、保護者63%と低調です。学校では、授業とのつながりを意識した家庭学習課題の設定とテストの前の家庭学習の取り組み等、引き続き改善を進めていきます。また、「健康・体力の向上」については、昨年度と比較して顕著に低下が見られました。コロナの影響を受けての3か月に及ぶ休業期間の家庭生活、授業での運動種目の制限や部活動の短時間化、各種大会の中止などが影響したものと考えました。安全面への配慮を行いながら授業・部活動を進めていきます。

◆アンケートの結果を受けて、2月17日、学校関係者評価会議を開催し、学校評議員・PTA代表者との意見交換を行いました。出された主な意見は次のとおりです。

- ・3年生には、学校を自分たちがリードしていくんだとの思いがあったと思うが、修学旅行、選手権大会、総合体育大会、我慢我慢というべき状況だった。とはいえ、コロナへの怒りをぶつけいる場もなく、精神的に大人になった面もある。
- ・「学校に行けるんだ」と、学校に行けるありがたさを感じた1年だった。
- ・参観で親等に見てもらうことを嫌だと言う生徒もいるが、見てもらうことを通して成長できる子どももいるので、このような状況ではあるができるだけ公開してほしい。
- ・コロナで制約されることが多かったが生徒はその中で新たなものを見つけることもあった。大変な状況ではあったが、生活を変えるチャンスともなっていた。
- ・コロナにより、地域では行事や予定がすべてキャンセルとなっていた。コロナ感染症が学校で発生すると厳しい。大きな責任を負った大変な状況の中で、先生方にはここまでの1年間学校を運営していただいたことに感謝したい。
- ・大人が知恵を出し合って、何とかしようとしていることに、子供たちも学んでいる。子供の思いも感じもってやらせてやりたいとも思った。
- ・臨時休業で2ヶ月失われた分、生徒の学習活動が圧縮された面は多分にある。コロナ2年目となる来年はさらに工夫して教育を行ってほしい。
- ・当たり前になっていたことが、コロナ禍によって、当たり前でなかったと気づいた子供に成長を感じた。
- ・生徒の皆さんの「あいさつ」はもとより、合唱祭の立派な出来栄えに感動をした。
- ・特別支援教育においても個々の特性を見出した教育が行われていた。丁寧な対応に感謝したい。
- ・夕暮れ時の先生方の交通見守りがありがたい。

◆今後さらに具体的な改善策や取り組みを検討し、来年度以降の学校経営に反映させていく予定です。ご協力ありがとうございました。